

4. 特別養護老人ホーム飛鳥晴山苑

1) 総括的概要

令和3年度も令和2年度に引き続きコロナに翻弄された1年であった。ほぼ全事業所で職員又は利用者様がコロナに罹患し、その対応に迫られる日々の連続であった。それでも苑内クラスターを起こさなかった主要因はコロナ陽性者が出現する度、職員が一丸となって迅速な感染拡大防止措置等をとれたことに尽きる。隔離されたユニット内で防護服に身を纏っての業務は体力的にも精神的にも厳しい環境であったし、また訪問系の職員も同様に感染対策を施しながら、利用者様宅へ伺う事は気苦労も大きい。

このような状況下、全体の事業活動収支としては昨年度(令和2年度)を若干上回る事はできたが、コロナ前の数字に戻すことは難しかった。

利用者延人数では、特養が昨年度対比-391名の50,778名、ショートステイが-514名の5,782名、一般デイが+364名の20,200名、認知デイが+22名の2,321名、居宅介護支援事業所は-25名の1,661名、訪問看護が+460名の7,292名であった。

大きな変化としては、特養を152床⇒156床、ショートステイを20床⇒16床の増減と上下階に分離していたショートステイ2ユニットを隣接ユニットに移動した事が挙げられる。これにより今後も、特養の収益増加とショートステイの収支改善を見込んでいる。

令和4年度であるが、本格的に収支改善を図ることが最優先・最重要課題である。各事業所に目標値を設定【特養150/156、ショートステイ18/16、一般デイ40/45、認知デイ9/12、リハビリデイ22/25、訪問看護件数32/日】し、上半期(9月末)を達成目途とした。

コロナの見通しが不透明な中ではあるが、たとえコロナ陽性者が出ても収益を確保し、ウィズコロナの対応を模索していきたい。

また、世界的な半導体不足で導入が遅れていたICT機器が、昨年度末にようやく全て整備されたので、職員の負担の軽減、効率的な業務推進を徐々に浸透させていきたい。特養では9年目を迎える自立支援の継続と、LIFEの新加算取得、2Fデイでは提供時間の一元化、居宅では特定事業所加算の取得検討、訪問看護では常勤看護師の採用と育成、等々の課題に取り組む。

2) 施設概要

施設の名称	特別養護老人ホーム 飛鳥晴山苑	
建設地	東京都北区西ヶ原4-5-1-1	
施設の種別及び定員	①特別養護老人ホーム(ユニット型・個室)	156床
	②ショートステイ(ユニット型・個室)	16床
	③デイサービスセンター(一般型)	45人
	④デイサービスセンター(認知症対応型)	12人
	⑤デイサービスセンター(介護予防型)	25人×1日2回
	⑥居宅介護支援事業所	
	⑦訪問看護ステーション	
	⑧地域包括支援センター	
敷地面積	6,500.02 m ²	
建築構造規模	鉄筋コンクリート造 地上6階建	
建築面積	3,774.65 m ²	
延床面積	12,830.11 m ²	
駐車台数	49台	
着工	平成18年 12月13日	
竣工	平成20年 3月31日	

特別養護老人ホーム 飛鳥晴山苑 職員体制

事業所	職 種	常 勤	非常勤
管 理 者	施 設 長	1名	
特別養護老人ホーム (短期入所事業含む)	生 活 相 談 員	3名	
	介 護 支 援 専 門 員	1名	1名
	介 護 職 員	77名	16名
	看 護 職 員	5名	3名
	機 能 訓 練 指 導 員	2名	
	事 務 職 員	2名	
	管 理 栄 養 士	1名	
	洗 濯 ・ 清 掃 ・ 運 転		10名
	介 助 ・ 生 活 支 援 員		7名
通 所 介 護 事 業	生 活 相 談 員	4名	
	介 護 職 員	10名	11名
	看 護 職 員		4名
	機 能 訓 練 指 導 員	1名	
	運 転 手		17名
居 宅 介 護 支 援 事 業	介 護 支 援 専 門 員	3名	
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	看 護 職 員	4名	2名
	機 能 訓 練 指 導 員	3名	
	事 務 職 員	1名	
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	社 会 福 祉 士	1名	
	看 護 師	1名	1名
	事 務 員	1名	
	ケ ア マ ネ	2名	1名
	見 守 り コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1名	
	医 師		5名
計		124名	78名

資格取得状況

社 会 福 祉 士	10名
社 会 福 祉 主 事 任 用	11名
介 護 支 援 専 門 員	18名
正 看 護 師	20名
准 看 護 師	2名
作 業 療 法 士	3名
理 学 療 法 士	2名
管 理 栄 養 士	1名

介 護 福 祉 士	90名
実務者研修終了者(1級)	7名
初任者・基礎研修終了者(2級)	36名

【重複所持あり】

4-1. 特別養護老人ホーム事業関係

令和3年度の介護度は4.1～3.9で年度当初より年度末には0.2低下した。年間の入所率は91.1%、稼働率は88.8%（空床含まず）であった。7月よりベッド数が4床増えたが、入所者の3分の1の方が退所され、新型コロナウイルス感染症の影響で、新規面接が進まなかった。また、入所面接を辞退する件数も増加した。理由としてユニット型では、補給給付の対象であっても年金収入の範囲内での支払いが難しく家族の収入減が重なったこと、コロナ禍において面会が出来ないということが影響している。入院者数も前年度より20%増加したことも稼働率低下の要因である。入所面接を効率よく進め、早期入所に繋げたい。

1) 入所前住所別在苑者数

入所前住所地	人 数	入 所 前 住 所 地	人 数
赤 羽	2	王 子	12
赤 羽 南	1	王 子 本 町	2
赤 羽 台	4	滝 野 川	24
赤 羽 西	4	西 ケ 原	19
志 茂	5	栄 町	2
西 が 丘	2	堀 船	4
浮 間	5	豊 島	18
岩 淵 町	5	中 里	4
神 谷	3	上 中 里	3
上 十 条	2	田 端	7
中 十 条	2	田 端 新 町	1
東 十 条	2	区 外	3
小 計	37	小 計	99
		合 計	136

2) 月別入退所状況

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入 所	6	5	2	5	2	8	5	2	2	3	3	4	47
退 所	4	2	7	0	3	6	3	3	5	4	4	7	48

3) 入所経路及び退所理由

区分	入 所 経 路									退 所 理 由			
	自宅	病院	特養	老健	ケアハウス	有料老人ホーム	グループホーム	サ高住	計	死亡	長期入院	在宅復帰	計
男	1	1		4		3			9	9	4		13
女	23	3		7		3	2		38	33	1	1	35
計	24	4	0	11	0	6	2	0	47	42	5	1	48

4) 在苑者の年齢構成

区分	65未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上	合 計	平均	最高	最低
	男	0	2	2	2	4	4	6	1	21	84	101
女	0	1	6	7	18	27	25	31	115	88.8	104	67
計	0	3	8	9	22	31	31	32	136	88		

5) 介護度別分類

①介護度別障害老人の日常生活自立度 寝たきり度

介護度 ランク	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
自立						0
J 1						0
J 2						0
A 1		2		4	1	7
A 2	1	3	10	7	7	28
B 1		5	8	7	7	27
B 2		2	5	26	20	53
C 1			3	1	3	7
C 2		1	1	5	5	12
計	1	13	27	50	43	134

②介護度別認知症高齢者の日常生活自立度

介護度 ランク	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
自立						0
I		4	2	3		9
II a		2	3	5	2	12
II b	1	2	1	4	4	12
III a		4	12	21	11	48
III b		1	4	8	4	17
VI			5	9	20	34
M			2		2	4
計	1	13	29	50	43	136

③男女別平均介護度

区分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均
男	1	3	4	7	7	22	3.7
女		10	25	43	36	114	3.9
計	1	13	29	50	43	136	3.9

医務室部門

<R3年度(2021年度) 受診同行・入所者入院状況・看取り状況・面接業務>

- ①受診看護師同行 92件
 - *転倒、転落、打撲、外傷、痛み、その他の再診 39件
 - *発熱、意識障害、誤嚥 嘔吐他 28件
 - *出血、蜂窩織炎、ヘルペス、イレウス 血流不全 脳梗塞他 20件
 - *新型コロナウイルス感染 1件
- ②救急搬送 20件
 - *意識レベル低下3件、発熱 肺炎5件 呼吸不全2件、転倒転落5件
腸穿孔1件 新型コロナウイルス陽性1件 下血1件 尿管詰り1件
大胸筋血腫1件
- ③入院件数 36件
 - *平均入院日数 37.9日
 - *入院利用病院 花と森の東京病院9件、明理会中央総合病院 12件
北医療センター7件、東京女子医大東医療センター1件、帝京大学1件
一心病院 1件 大和病院 1件 健康長寿医療センター1件
新宿メディカル病院 1件 葛飾IMS病院1件
- ④看取り件数 32件
 - *老衰 35件 慢性腎盂腎炎 1件
 - *平均年齢 91.6歳
- ⑤入所事前面接実施件数
 - *特養面接 20件

4-2. 短期入所生活介護（ショートステイ）事業

7月より20床から16床にベッド数が減り、夜勤体制も1ユニットで1人体制が2ユニットで1人体制に変わる等、ショートステイにとって大きな変化の年となった。

コロナの影響により自主的に利用を控える方や入所受け入れ中止した日があり1年を通し稼働率が低迷してしまった。特に2月は開設以来、一番低い数字となった。

しかし、年度末にかけて新規利用の申し込みが増え稼働率も上昇してきており全国的にコロナ感染者の数が下がりきらない中でもショートステイのニーズは高い。

コロナウイルスとはうまく付き合っていかなければ次年度も同じようになってしまう。

令和4年度の取り組みとして①コロナ過の中でも安心・安全に利用して頂けるよう感染予防を徹底した環境作り。②緊急の依頼を積極的に受け入れ社会に貢献していく。③新規利用者の獲得。

④胃ろうやインシュリン自己接種の方など医療行為が必要な方の積極的な受け入れ。

この4項目を重点的に取り組み、稼働率アップに繋げたい。

・R3.4/1～R4.3/31

介護保険請求のみの表記（北区緊急生活支援事業・北区認知症高齢者一時保護事業は含む）。

・特養空床利用は含まない。

1) 利用状況

	実利用者数	利用者延人数	送迎回数	平均利用者数
4月	88	557	195	18.5
5月	77	549	191	17.7
6月	79	524	188	17.4
7月	78	484	181	15.7
8月	74	445	173	14.3
9月	78	460	209	17.0
10月	81	529	213	17.0
11月	84	531	202	18.0
12月	76	446	170	14.0
1月	70	443	156	14.0
2月	51	287	116	10.0
3月	77	527	187	17.0
合計	913	5,782	2,181	15.9

2) 介護度別延利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	2	2	1	2	1	3	2	2	2	1	1	1	20
要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8
要介護1	20	19	15	18	17	15	16	22	16	15	6	18	197
要介護2	17	12	19	17	15	15	18	14	12	11	9	12	171
要介護3	17	12	14	14	14	14	14	13	16	13	9	13	163
要介護4	15	16	13	15	12	15	16	18	16	17	10	16	179
要介護5	16	13	15	11	12	15	14	14	14	13	14	13	164
自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
申請中	0	2	1	0	2	3	0	0	0	0	2	4	14
合計	88	77	79	78	74	81	81	84	76	70	51	78	917

3) 利用者年齢構成

	65未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上	合計	平均	最高	最低
男	3	2	4	4	12	8	10	5	48	83.1	98	50
女	1	1	8	8	15	34	47	28	142	88.9	102	61
合計	4	3	12	12	27	42	57	33	190	87.4		

4-3. 通所介護(デイサービス) 事業(介護予防含む)

コロナ陽性者が出たため営業を16日間停止したが、前年度比で104.1%と上昇傾向にある。しかしながら利用控えの傾向は色濃く残っており新規利用者の獲得も停滞傾向にある。

サービス提供時間を6-7時間に一本化し残業による人件費の軽減を図る。また希望が多かった、帰りの送迎前に筋力トレーニングの時間を作り身体機能を維持することの取り組みを始める。このことにより転倒による入院リスクの減少を努め、定期利用と新規利用者の獲得を行い、1日40名の利用者確保を目指す。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用 人数
令和2年度 延べ人数	807	813	932	965	929	943	740	874	877	833	922	1045	10680
1日平均	31.0	31.3	35.8	35.7	35.7	36.3	35.2	35.0	35.1	34.7	38.4	38.7	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用 人数
令和3年度 延べ人数	1000	1031	1024	1067	739	1030	993	983	943	729	685	896	11120
1日平均	38.5	39.7	39.4	39.5	28.4	39.6	36.8	37.8	39.3	30.4	28.5	33.2	

2) 介護度別利用状況

①要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	10	10	10	10	11	10	10	12	13	13	9	10	128
要支援2	13	13	15	14	12	10	9	9	10	10	10	9	134
要介護1	42	41	40	43	44	44	44	45	48	44	35	34	504
要介護2	32	35	34	33	29	31	29	29	27	27	25	25	356
要介護3	7	7	9	10	6	9	9	10	10	11	9	9	106
要介護4	13	11	12	13	12	13	14	13	15	15	12	12	155
要介護5	7	6	6	6	5	5	5	6	5	5	4	4	64
合計	124	123	126	129	119	122	120	124	128	125	104	103	1,447

3) 曜日別平均利用状況(予防含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月曜日	40	36.8	34.3	41	35	37.8	36	35.8	37.8	37.3	32	33.5	36.4
火曜日	41.5	41	41.4	42.5	41.5	42.3	40.8	38.6	41.3	40.8	32.7	37.8	40.2
水曜日	44.5	42.3	41.4	40.5	39.3	39	39.8	39.3	40	37.3	33.3	32	39.1
木曜日	35.8	37.5	37.8	39.6	38	39.4	38.3	33.5	35.5	35.3	27	28.4	35.5
金曜日	38.4	38	37.5	39.8	36.7	38.3	36.6	41	41.3	36.7	28.5	32.3	37.1
土曜日	41.3	42.4	43	43.5	42	41.3	38.2	39	40	42	34.3	35.5	40.2
日曜日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4-4. 認知症対応型通所介護(デイサービス)事業(介護予防含む)

今年度はコロナの影響により25日間、営業停止したが、前年度比101.2%と稼働は維持することが出来た。今後は検温、飛沫防止の亚克力板を継続的に設置と、ご利用者様のマスク着用を徹底し感染拡大に防ぐとともに、仮にコロナ陽性者が出た場合でも営業停止期間を最小限にし収益確保に努める。令和4年4月からサービス提供時間を6-7時間に一本化し職員の残業時間を削減し人件費の抑制に努める。

1) 利用者月間延べ人数推移

①要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用 人数
31年度 延べ人数	200	200	188	210	211	175	182	211	214	187	189	176	2343
1日平均	7.7	7.4	7.5	7.8	7.8	7.0	6.7	8.1	8.9	7.8	7.6	6.8	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用 人数
令和2年度 延べ人数	217	183	199	205	171	138	200	217	224	203	166	171	2294
1日平均	6.6	6.4	7.8	8.3	8.3	7.7	6.6	6.8	8.2	8.3	7.6	8.0	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用 人数
令和3年度 延べ人数	192	224	237	244	121	224	241	218	194	154	104	168	2321
1日平均	7.4	8.6	9.1	9.0	4.7	8.6	9.3	8.4	8.1	6.2	4.3	6.2	

2) 介護度別利用状況

①要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	7	6	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	47
要介護2	1	1	1	3	3	2	2	1	2	2	1	1	20
要介護3	3	3	5	5	5	6	6	5	4	4	5	3	54
要介護4	7	9	9	9	6	7	8	8	7	7	5	6	88
要介護5	4	4	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	62
合計	22	23	24	26	23	24	24	22	22	22	20	19	271

3) 曜日別平均利用状況(予防含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月曜日	9.0	10.6	10.8	10.8	9.3	9.8	10.0	9.2	8.5	8.0	6.3	8.3	9.2
火曜日	8.5	9.3	10.6	10.3	10.3	9.8	10.5	10.0	10.2	9.0	6.7	6.6	9.3
水曜日	5.8	5.0	6.4	7.5	7.0	7.8	7.8	6.3	7.0	5.3	5.0	5.4	6.4
木曜日	7.6	8.8	9.0	8.6	7.0	7.0	8.0	9.3	8.5	8.3	6.0	6.6	7.9
金曜日	7.6	9.3	9.8	10.6	8.5	9.0	10.2	9.0	8.8	9.0	7.0	6.3	8.8
土曜日	8.0	8.4	8.5	8.5	8.5	9.0	9.0	6.0	5.5	5.3	5.7	4.3	7.2
日曜日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

4-5. 運動器機能向上特化型介護予防通所介護事業(デイサービス)

「リハビリデイあすか」

令和3年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、利用者の自主的な利用控えがあったため、利用者数は依然低調なままとなった。

そして、利用を控えていた利用者も状況の好転に伴い徐々に戻り始めたと思われたが、また東京都内での新規感染者数が増加するに伴い、利用実績も増減し、最終的には昨年度に対して約1%の減少となった。

継続して利用している利用者からは体温の確認や手指消毒の徹底により安心感を持って利用を続けることが出来るという声もあり、現時点で実施している一連の感染予防対策については、実際の予防効果のみでなく、利用する際の不安の軽減につながるものにもなっている。

令和3年度の開始にあたり、令和2年度よりも好条件として考えていた「事業所評価加算」を算定することは大きなプラスとなっていたが、これは令和4年度についても算定出来ることになり、引き続き収入の面では大きなものとなる。

近隣の地域では統廃合により閉鎖する事業所もあるが、これはその事業所の利用者が当事業所に通所する可能性もあり、地域の介護支援事業所や地域包括支援センターとのつながりを常に密に保つことでそれらの利用者を紹介して頂き、利用者増加への糸口に出来るものと考ええる。

また、「おたっしや元気アップマシントレーニング教室」及び「おたっしや筋力アップ体操教室」については新型コロナウイルスの新規感染者の動向によって大きな影響を受けるが、前回実施時の様子からも近隣の地域では運動を始めとした介護予防への強い関心と意欲が感じられており、令和4年度においても飛鳥晴山苑を会場として実施することで、地域の高齢者福祉の中心となって活動していく為の中心地としての役割を担うべく、安心して利用出来る活動の場としての環境作りを目指していく。

「リハビリデイあすか」利用状況

	R2平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3平均
利用者数	159.3	166	161	168	173	168	167	174	179	174	169	153	155	167.3
延べ利用者数	763.0	757	749	745	801	672	797	814	855	783	744	576	787	756.7
営業回数	42.9	43	44	43	45	43	44	43	43	40	40	38	45	42.6
1回の平均利用者数	17.8	17.6	17.0	17.3	17.8	15.6	18.1	18.9	19.9	19.6	18.6	15.2	17.5	17.8

4-6. 居宅介護支援事業 「ケアパートナーあすか」

令和3年度も稼働率は100%を超える結果(法令件数内1525件に対し1659件)となった。対前年度比で数字の目減りはあるが介護給付の比率を上げたことで単価は850円増加した。現状これ以上の稼働率を見込めないことから、令和4年度は「特定事業所加算Ⅲ(307単位/月)の取得を目指す。

1) 月別ケアプラン作成件数(予防プラン含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和1年度	145	145	146	146	145	146	145	149	148	147	143	142	1,747
令和2年度	139	147	150	147	143	140	139	138	139	138	133	133	1,686
令和3年度	137	135	131	137	140	143	143	143	140	140	134	136	1,659

2) 地区別件数

月 地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
北区	122	120	117	123	127	130	130	130	127	127	122	124	1,499	1,518
豊島区	15	15	14	14	13	13	13	13	13	13	12	12	160	168
板橋区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	137	135	131	137	140	143	143	143	140	140	134	136	1,659	1,686

3) 介護度別件数

月 地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
要支援1	23	23	23	24	24	23	22	22	20	18	18	16	256	278
要支援2	14	13	13	13	13	14	12	11	11	11	10	10	145	242
要介護1	47	46	44	47	51	48	51	54	52	51	48	51	590	558
要介護2	23	24	22	20	21	23	23	22	24	25	25	23	275	250
要介護3	15	14	14	16	14	13	12	9	11	11	12	13	154	190
要介護4	9	9	9	11	12	16	17	17	15	15	14	15	159	96
要介護5	6	6	6	6	5	6	6	8	7	9	7	8	80	72
合計	137	135	131	137	140	143	143	143	140	140	134	136	1,659	1,686

4-7. 訪問看護事業「訪問看護ステーション 飛鳥晴山苑」

＜基盤づくりと経営の安定化へ向け＞

11年目を迎えたステーションは2年目となる新型コロナ感染症拡大の中、業務を開始した。

理念・ビジョンを基本に、経営の安定化を図る努力を行った。新入職員は迎えることが出来ず看護師は6人（常勤4人非常勤2人）、セラピストは3人（常勤）体制で引き続き質の高い看護とリハビリの提供を行った。コロナ渦において様々な活動が制限される中、12月には開設11周年記念の学習会を開催することが出来た。チーム活動も学会や研修（オンライン開催）に参加しそれぞれ活発に活動できた。

「呼吸チーム：包括的呼吸リハビリの指導」「褥瘡チーム：毎月の褥瘡カンファレンスや物品管理、スキンケアの指導」「認知症チーム：ステーション内の勉強会を主催しスタッフのスキルアップに貢献」「エンドオブライフチーム：在宅看取りの手引書作成、スタッフの看取り支援の教育」。年間在宅看取り数は5事例であった。

管理業務では特に災害時の対応、感染対策を重視しBCPについて所内でも検討を進めた。利用者総数は前年度より増加。月の利用者数91～105人、延べ訪問件数508～671回/月と前年度を上回っているが、平均単価は、介護・医療合わせて 9,179円と低くなっている。理由としては介護保険の看護Ⅰ3の減少、医療保険の訪問件数増、リハビリの要支援訪問比率の上昇が考えられる。新型コロナ対応では、職員の感染予防策の徹底、利用者・家族への指導を行い、濃厚接触者にならないように努めた。利用控えは前年度よりは少なかった。収益増の努力としては、北区からの在宅コロナ療養者の健康観察を9月から引き受けて実施し収入を得ることが出来た。今後も地域に根差したステーションとして運営を続けていけるよう、常勤看護師の採用・育成、現スタッフの定着、労働意欲を維持できる魅力ある健全なステーション作りに注力したい。

令和3年度実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険	介護保険収入	3,293,604	2,762,018	3,594,969	3,744,617	3,768,024	3,357,759
	述べ件数	372	310	405	414	424	383
	平均単価	8,853	8,909	8,876	9,044	8,886	8,766
オプション	利用者負担	0	0	0	0	0	0
医療保険	医療保険収入	2,279,390	2,179,530	2,560,910	1,754,820	2,170,080	2,313,920
	述べ件数	242	239	266	184	226	252
	平均単価	9,666	9,552	9,928	9,739	10,000	9,585
オプション	利用者負担	60,000	103,400	60,000	37,280	90,000	101,700
実習費など		18,000	0	3,000	0	0	0
事業収入		5,650,994	5,044,948	6,218,879	5,536,717	6,028,104	5,773,379

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	介護保険収入	3,481,438	3,291,173	3,369,606	3,213,469	2,884,723	3,355,633
	述べ件数	394	368	391	371	323	385
	平均単価	8,836	8,943	8,617	8,661	8,931	8,715
オプション	利用者負担	0	0	0	0	20,000	7,239
医療保険	医療保険収入	2,268,730	2,263,390	2,211,430	1,953,180	1,825,490	2,329,020
	述べ件数	236	240	232	204	185	244
	平均単価	9,894	9,514	9,709	9,696	10,083	9,701
オプション	利用者負担	36,780	20,000	41,140	25,000	20,000	38,240
実習費など		222,960	271,400	294,250	11,500	3,000	815,102
事業収入		6,009,908	5,845,963	5,916,426	5,203,149	4,753,213	6,545,234

年間総収入 68,526,914円

職員研修参加状況

月	内 部 研 修 名	外 部 研 修 名
4月	新規採用職員研修	令和3年度介護報酬改定と訪問看護制度の活用
5月	感染症予防訓練研修(コロナ他)	第18回 日本訪問リハビリテーション協会 学術大会in高知2021
	コンプライアンス研修(個人情報保護・パワハラ等)	
6月	ノーリフト研修	介護施設における安全対策担当者養成研修
	身体拘束適正化・虐待防止研修	一般社団法人日本認知症ケア学会 第22回大会 いつもどおりの生活と認知症を考える
		第26回北区ナーシングヘルスケアネットWEB交流会 メンタル疾患のある人を地域で支えるために
		在宅での人工呼吸器装着療養者の看護
		令和3年度 北区介護支援専門員研修
7月	感染症予防研修(コロナ・食中毒)	北区リハネット総会 北区における介護予防事業・認知症事業とリハ職の関わり
	口腔・摂食嚥下研修	令和3年度第I期 東京都介護支援専門員専門研修
		第5回 非がん疾患のエンドケアライフケアセミナー
		TOKOのTOKO 第20回学習会 「下肢潰瘍困っていませんか？」
		令和3年度第1回 都立大塚病院地域連携勉強会
		介護福祉士実習指導者講習会
		令和3年度 高齢者権利擁護研修
8月	口腔・摂食嚥下研修	東京都介護支援専門員専門研修II
	感染症予防研修	高齢者虐待防止研修
		北区在宅ケアネット新型コロナ緊急研修会
		令和3年度 認定調査員現任研修(第1回)
9月	看取り・ユニットケア研修	日本褥瘡学会 在宅褥瘡管理者養成セミナー
	褥瘡予防研修	令和3年度 訪問看護師等育成研修 レベルアップ編
	自立支援研修	令和3年度 第3～4回 東京都認知症介護実践リーダー研修
	リスクマネジメント研修	令和3年度 第1回 看護管理者連絡会議
		第23回 日本褥瘡学会学術集会 褥瘡を学ぶ新しいかたち～仮想空間のふれあいが未来をひらく～
		第27回 医療・介護職のための「優しさを伝えるケア技術」
		令和3年度 北区介護支援専門員研修「地域ケア会議」
		日本エンドオブライフケア学会 多職種で支えるエンドオブライフケア～よりよいコミュニケーションを目指して～
		2021年度 感染対策マネージャー養成研修
	実習指導者研修基礎編 「訪問看護自主指導者の心得」	
10月	ユニットリーダー研修	北区在宅ケアネット 多職種連携研修会
	口腔ケア・摂食嚥下研修	令和3年度 指定更新事業者研修会

11月	感染症予防研修(ノロウイルス)	令和3年度 訪問看護師等育成研修 在宅移行編
	認知症・精神的ケア研修	令和3年度 在宅難病患者訪問看護師等養成研修(座学研修Ⅱ)
		訪問看護サミット2021
		東京都ナースプラザ 高齢者施設におけるターミナルケアの考え方と実際
		第31回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 地域とチームで支える呼吸ケア～新しい社会・生活様式への融合～
		全国高齢者施設看護師会 “病院ではない”施設看護師の専門性と具体的な動き方
		第3回 シーティング入門
		令和3年度 北区高次脳機能障害訓練事業研修
		訪問看護ステーション11周年学習会「臨床推論」
12月	虐待防止研修	令和3年度 第17～20回東京都認知症介護実践研修
	ノーリフト研修	東京都訪問看護ステーション協会 「在宅におけるリンパ浮腫ケア」
1月	ユニットリーダー研修	医療的ケア教員講習会
	身体拘束適正化研修	令和3年度 第I期 東京都主任介護支援専門員更新研修
		令和3年度 第3回 北区在宅ケアネット 多職種連携研修会 第6波の現状と対応～オミクロン株～
2月	口腔ケア・摂食嚥下研修	北区社会福祉協議会 後輩の成長と自主性を育成するためのコーチング研修
		令和3年度 東京都ACP推進事業 アドバンス・ケア・プランニング取組推進研修～本人の意思に沿った医療・介護の意思決定支援を考える～
		令和3年度 東京都訪問看護教育ステーション事業勉強会「子どもの力を引き出す支援」
3月	リスクマネジメント研修	令和3年度 東京都介護支援専門員専門研究協議会 第2回大規模研修「複数の具体的支援から学ぶBCP策定のポイント」
	新規採用フォローアップ研修	令和3年度 都立駒込病院 虐待等対策研修
		2021年度 第13回(NPO)日本健康運動指導士本部講習会
		令和3年度 日本訪問看護財団研修 令和4年度診療報酬改定セミナー
		一般社団法人東京都レクリエーション協会 レクリエーション・サポーター研修
		令和4年度 第1回～4回 東京都認知症介護実践者研修

実習生受入状況

研修名	依頼元	人数	実習日
介護実習（3段階）	日本福祉教育専門学校	2名	R3年10/1～11/14（27日間）
介護実習（2段階）	淑徳大学短期大学部	1名	R4年3/8～3/29（18日間）
介護実習（1～2段階）	東京福祉保育専門学校	3名	R3年9/13～3/25（15日間）
例年、数校の介護学生の実習や近隣中学校の体験学習等を受け入れていたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策の為に中止	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
訪問看護実習（訪問看護）	帝京高等看護学院	14名	R3年5/10～5/19 R3年6/14～6/23 R3年7/5～7/14 R3年9/13～9/22 R3年10/18～10/27 R4年2/1～2/9 R4年3/7～3/16
訪問看護実習（訪問看護）	東京山手メディカルセンター附属看護専門学校	2名	R3年10/4～10/14
訪問看護実習（訪問看護）	首都大学東京	39名	R3年11/24～12/2 R3年12/7～12/16 R4年1/12～1/20 R4年1/25～1/28

実習生受入状況（地域包括）

研修名	依頼元	人数	実習日
例年、看護学生の実習を受け入れていたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策の為に中止	—	—	—
		—	—
		—	—
		—	—
		—	—
		—	—
		—	—

行事・会議・委員会実施状況

	行 事	会 議	委 員 会
4 月	※特養の行事は新型コロナウイルス感染防止対策の為年間を通し中止 お花見（デイサービス）	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 事故防止対策委員会
5 月		施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	医療的ケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会
6 月		施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 褥瘡対策委員会 事故防止対策委員会
7 月	納涼祭（デイサービス）	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会
8 月		施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 事故防止対策委員会
9 月	敬老会（デイサービス）	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	医療的ケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 褥瘡対策委員会

	行 事	会 議	委 員 会
10月	運動会 (デイサービス)	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 事故防止対策委員会
11月		施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会
12月	忘年会 (デイサービス)	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 褥瘡対策委員会 事故防止対策委員会
1月	新年会 (デイサービス)	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	医療のケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会
2月	節分 (デイサービス)	施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 事故防止対策委員会
3月		施設運営会議 フロアリーダー会議 フロア会議 ユニット会議 サービス担当者会議 医務室会議 入所検討会議 在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議 包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会 訪問看護事例検討会	医療のケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 褥瘡対策委員会